

クリーンセンター再整備工事の経過報告

1 前回クリーンセンター再整備に関する特別委員会（12月3日）以降の経緯

日付	内容
令和6年12月3日（火）	クリーンセンター再整備に関する特別委員会
12月4日（水）	町顧問弁護士に今後の共和化工(株)との交渉について相談
12月6日（金）	共和化工(株)との工事請負契約にかかる交渉事件について町顧問弁護士に委任
12月10日（火）	申入書を内容証明により町代理人弁護士から共和化工(株)へ送付 内容：工期延長の協議をするために必要な工事内訳書、実施設計図書、工事工程表、生ごみ資源化処理施設に係る試運転・性能試験要領書、運用マニュアル、培地搬入計画等の資料の提出を求める
12月19日（木）	町からの申入書の対応を理由に共和化工(株)からクリーンセンター再整備工事定例会議の開催をキャンセルされた
12月25日（水）	申入書に対して共和化工(株)と共和化工(株)代理人弁護士から回答 内容：令和6年度と令和7年度の内訳書、町が求める破除袋機が内訳に含まれていない等の書類が提出される。 また代理人弁護士（町代理人弁護士経由）と共和化工(株)から工期延長理由の回答が提出される
12月27日（金）	町代理人弁護士と打合せ 今後の流れについて相談。最終通告として1月10日を目途に再度不足している資料を要求する
令和7年1月10日（金）	町代理人弁護士に通告書案確認依頼 内容：①破除袋機の金額を含めた当初内訳書を提出すること、②工期延長協議に必要な令和6年度と令和7年度の内訳書を提出すること、①と②が提出されなかった場合、町は契約解除を行う
1月11日（土）	通告書を内容証明により町代理人弁護士から共和化工(株)代理人弁護士へ送付
1月14日（火）	共和化工(株)代理人弁護士に通告書到着
1月23日（木）	クリーンセンター再整備工事定例会議 町監督員が共和化工(株)設計担当の出席を要請していたが、設計担当が欠席したため、共和化工(株)から12月25日に提出された資料についての確認ができなかった。また、町から共和化工(株)へ通告書の対応状況について質問するが、この場での回答はできないと断られる
令和7年1月28日（火）	通告書への回答 要求した資料の提出 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会 情報共有

2 共和化工(株)の要求

(1) 工期延長

令和7年11月28日に工期変更の工程表が示された。

当初	変更
令和7年2月28日	令和7年7月31日

(2) 主な延長の理由

- ① 鉄骨部材他、建設資材の調達が困難な状況になったため
- ② 計装制御盤内の部材及びケーブル関連資材の調達が困難な状況となったため
- ※ なお、代理人弁護士を通じて他の理由も示されている。

(3) 令和6年度の出来高見込及び令和7年度予算

令和7年1月28日に内訳書が提出されました。【別添1】

(4) 賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更

請求額：531,300,000円（税込）

- ※ 令和6年10月4日に申し出があり、令和7年1月28日に内訳が示された金額。
なお、共和化工（株）は令和6年4月を基準日とし、以降の残工事に係る金額を遡り請求している。

(5) 増工事費

請求額：96,470,000円（税込）

【請求項目】

- ①杭撤去変更による減額、②解体撤去工事の追加（アスベスト）による増額、③解体撤去工事追加（地中障害物）による増額、④ブロック積擁壁の追加変更による増額、⑤誘導員休憩所の削除変更による減額、⑥消臭剤変更の縮小変更に伴う減額、⑦備品類追加に伴う増額

3 令和7年3月からのクリーンセンターの運用方針

(1) 生ごみの分別収集

本町の令和7年3月からの分別収集は、住民への説明、周知、分別に対応するための収集委託を長期継続契約により契約し、請負業者も人材や車両確保を進めていると伺っていることや11月から住民説明会を開催し、これまで延べ54回開催しており、町民への混乱が無いよう、また、各業務の契約者へ迷惑をかけず、執行した予算の無駄とならないよう当初予定のとおり令和7年3月から開始する。

(2) 生ごみの処理

逗子市との協議で取り決めた制度設計の項目9トラブル発生時の対応方法に基づき、緊急的に民間資源化処理施設で資源化することで対応し、鎌倉市の燃やすごみの処理計画への影響を軽減する。

【概要】

期 間：令和7年3月1日から7月31日まで

処理先：横浜市鶴見区末広町2丁目1-15 Jバイオフードリサイクル横浜工場

処理量：125トン/月

資源化：湿式メタン発酵によるバイオガス化、肥料化

処理費：約480万円/月

(3) 生ごみ以外の廃棄物及び資源物

完成済みの新施設により処理を開始する。

2月中に引越し等の準備のうえ3月1日から新施設での運用を開始する。

【供用開始施設】

②サテライトセンター、③管理棟、④休憩棟、⑤プラスチックストックヤード、⑥植木剪定枝ストックヤード、⑦小物類ストックヤード、⑨ペットボトルストックヤード、⑩びん類ストックヤード、⑪車庫棟、⑬計量器（退出時）、⑭資源倉庫

令和7年1月28日

令和 7 年 1 月 28 日 共和化工(株)提出資料ベース 契約額整理

単位：円（税込）

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	合計
現契約額	442,568,500	94,146,800	980,971,200	66,313,500	1,584,000,000
増工事要望額	0	0	77,204,600	19,265,400	96,470,000
スライド要望額	0	0	516,286,100	15,013,900	531,300,000
合計	442,568,500	94,146,800	1,574,461,900	100,592,800	2,211,770,000